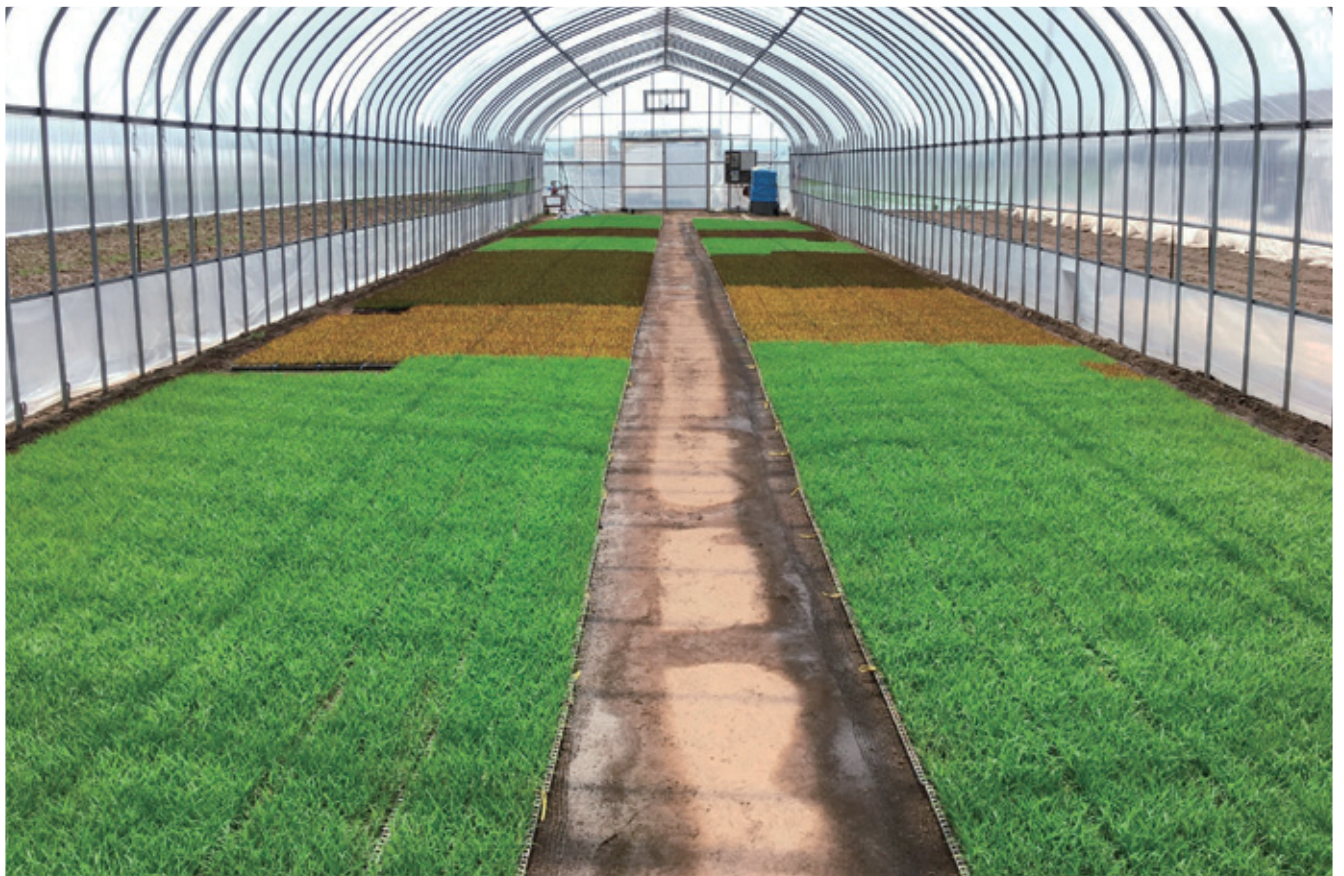


# 広報 ひろば **たいせつ**

## 6月号目次

- P 2～3 … たいせつなここがポイント
- P 4 …… 平成30年産「ゆめびりか」生産優良表彰
- P 5 …… たいせつHOTニュース
- P 6 …… J Aグループ通信
- P 7 …… メカニックセンターからのお知らせ
- P 8 …… 金融課からのお知らせ
- P 9 …… 令和元年度人事異動
- P 10～11 … たいせつ農業協同組合機構図
- P 12 …… 理事会・監事会からのご報告・たいせつのあゆみ



～ 田んぼアート苗の様子 ～  
(5月20日撮影)

# たいせつなここがポイント

JAたいせつ営農部 農産販売課



## 基本技術の徹底と病害虫対策を！！

### 1 いもち病対策

いもち病は、最低気温が16℃を超え、降雨が続いたら要注意です。昨年いもち病の発生したほ場や懸念されるほ場は定期的に巡回し、下葉の観察などを行い早期発見に努めましょう。

### 2 幼穂形成期の確認をしましょう。

#### ① 確認の前に！

幼穂形成期の確認の前に平年の幼穂形成期の時期を確認しましょう（表1参照）。

表1 調査：上川農業改良普及センター

項目	幼穂形成期	止葉期
平年	6月27日	7月12日

#### ② 幼穂の確認！

幼穂形成期を確認しましょう。（主茎の平均幼穂長が2mmの状態のとき）

幼穂形成期の確認から前歴期間・冷害危険期を判断します。平均的な生育の株の主茎（親穂）を3～5本程度抜き取り、カッターナイフ等で縦切り※にして幼穂長を測ります。幼穂長が平均2mmに達した日が幼穂形成期です。

※確認の際は怪我に注意しましょう。

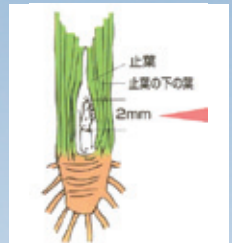


図1 幼穂形成期の確認

#### ③ 適切な水管理！

前歴期間の水管理はしっかりと。（幼穂形成期から約10日間）

水温上昇（21℃以上）により花粉数が増加し、稔実歩合が高まります。この期間の最大水深は10cmを限度とし、日中は止水にしましょう。また、茎数が少ない場合は、幼穂形成期から5日間は5cmの水深にして分けつを促進しましょう。

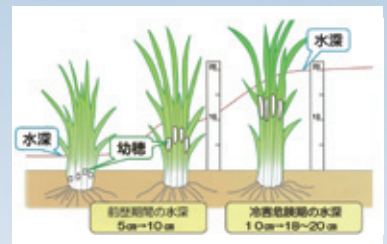


図2 前歴期間～冷害危険期の水管理

#### ④ 生育に合わせた水管理！

冷害危険期もしっかり深水管理を。（前歴期間10日以降の約7日間）

冷害危険期に低温に遭遇すると正常な花粉が減少します。冷害危険期は止葉と前葉の付け根にある「葉耳」の間隔（葉耳間長）を計測して判断します。止葉と前葉の葉耳間長が-5cmで冷害危険期の始まりとなります。

水深は幼穂の伸長に合わせて徐々に深くし、最大18～20cmを保ち、低温から幼穂を守りましょう。天候不順が続くと止葉の抽出が鈍り冷害危険期が長引きますので、葉耳間長を確認して適時深水期間の延長を図りましょう。



写真1 葉耳間長の確認

#### ⑤ 根の活性化！

冷害危険期が終了したら中干しを行います。

全体の80%程度が止葉と前葉との葉耳間長が+5cm（写真1参照）になったら冷害危険期の終了です。長期間の深水により根の活性が低下していますので中干しを行い、同時に溝切りを行います。

#### ⑥ 入水で登熟促進！

出穂がはじまったら。

開花受精後の米粒は急速に成長します。出穂が始まったら直ちに入水し、米粒の発育を促進させましょう。

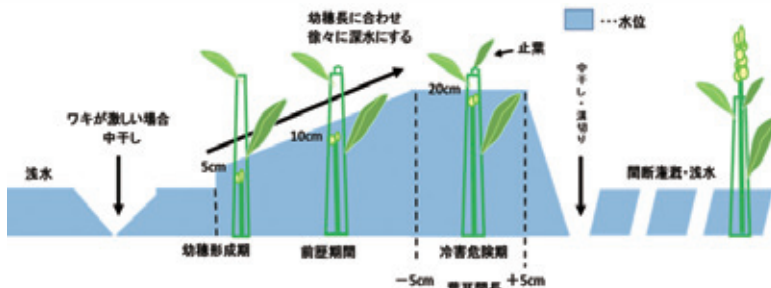


図3 各期間の入水目安



### 3 ほ場周辺はきれいにしましょう。

ほ場周辺のイネ科雑草・小麦・地力えん麦等は、カメムシの発生源となります。出穂前までには畦草刈・地力えん麦の鋤き込みを終了させましょう。また、刈り取った畦草は放置しておくとは病害虫の発生源となりますので、速やかに搬出しましょう。

## ～ 次年度の作付けに向けて～

### 次年度の作付けに向け苗床を準備しましょう。

ハウス内にフワ堆肥のすき込み（2 t / 10 a）やえん麦等のすき込みを行いましょう。

また、春先に行ったpH矯正だけでは限界があります。田植え後に土壌診断を行いpH矯正を行いましょう。特に本年リン酸過剰の症状（写真2）がみられたハウスでは必ず秋に土壌診断を受けるようにしましょう。



写真2 リン酸過剰の症状

## 畑作編

### ほ場をよく観察し、生育状況の把握と病害虫の発生予察により、適切な管理を行いましょう。

#### 1 小麦

##### (1) アブラムシの発生状況を確認

1穂当たり7～11頭寄生すると減収し品質も低下します。出穂期（6月中旬頃～7月上旬頃）から10～20日後に寄生密度が高まるので、よくほ場を観察し、確認したら防除しましょう。

※農薬散布の際は、安全使用基準を守り使用してください。

#### 2 大豆・小豆

##### (1) 中耕で根の活性化を実施しましょう

豆類の収量を高めるには、開花までの初期生育が重要です。中耕を行い、根の活性化を図りましょう。出芽後10日頃から3回程度行い、始めは広く浅く、徐々に狭く深く実施してください。ただし、着蕾以降の中耕は根を痛めるため、開花の10日前までに終了させましょう。

##### (2) 豆類の追肥は生育状態を良く観察

豆類チッソ吸収は開花期以降に増大してきます。

地力の低いほ場や初期生育が不良の場合は追肥を実施しましょう。ただし、過度の追肥や地力の高いほ場などでは成熟期の遅れや倒伏などによる品質低下を招くため注意しましょう。

	追肥時期	追肥量
小豆	第3本葉展開期（7月上旬～中旬）	硫安 25kg / 10 a
大豆	開花始め（7月中旬～下旬）	硫安 25kg / 10 a

##### (3) マメシクイガの防除徹底を

マメシクイガの幼虫は莢が柔らかい時期に内部に侵入して、子実を食害し、収量や品質を低下させます。

莢伸長始めの6日後を目処に防除を開始し、1回目は合成ピレスロイド剤、1回目から10日後に有機リン剤で2回目の防除を行いましょう。

#### ◆みんなで確認しあいましょう。

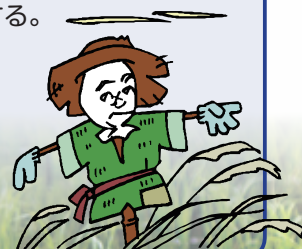
- ①隣に別の生産者のほ場がある場合、収穫と散布予定をよく打ち合わせる。
- ②周りに収穫直前の作物がある場合は、散布日を変更する。
- ③収穫期の近いほ場は、旗などの目印を立てて、周りの農家に知らせる。
- ④防除対象ほ場に隣接したハウスがある場合は、ハウスの側面を閉めてから防除を行う。

#### ◆ドリフト防止の注意事項

- ①朝夕の風のない、もしくは風の弱いときに風向きに注意して散布する。
- ②防除対象の作物にだけかかるよう注意して散布する。
- ③飛散しにくい剤型の農薬を選んで使用する。
- ④散布機の圧力と散布水量を適切に調節する。
- ⑤適切なノズルを使用する。

#### ◆農薬の使用上の注意事項

- ①ラベル表示を確認し、ラベルに記載された使用方法を遵守する。
- ②前回使用した薬液が残らないよう防除器具を十分に洗浄する。
- ③農薬は整理整頓して保管し、残農薬、空容器を適正に処理する。



## 農薬散布の基本技術

# 平成30年産ゆめぴりか 生産優良表彰

「北海道の新たなブランド形成協議会」では、「ゆめぴりか」の作付生産者に対し「基準内品生産の意識向上」と「ブランド形成への取組み参画」に敬意を表し、表彰基準(下記)を満たした生産者へ表彰マグネットを配布しています。

## ◆マグネット授与基準

ア、優秀表彰～金シート

協議会取組数量に占めるタンパク値6.8%以下の「ゆめぴりか」出荷数量が全道平均値を上回る生産者。

イ、優良表彰～えんじシート

協議会取組数量における「ゆめぴりか」基準内品の出荷数量が全道平均値を上回る生産者。

※アに該当する生産者はイの表彰は行わない。

※個々の「ゆめぴりか」作付面積にて算出された生産量に占める出荷数量が80%以上である事が前提条件となります。

平成30年産米については、平年を下回る作況と高タンパク米傾向となる厳しい作柄となる中、J Aたいせつ地域では197件の「ゆめぴりか」生産者のうち「優秀表彰」6件、「優良表彰」36件の合計42件の方が優秀な品質を保持し、表彰マグネットが授与されることとなりました。

受賞者一覧は以下の通りとなっており、受賞の皆様には敬意を表し組合員皆様にご案内申し上げますと共に「ゆめぴりか基準品生産」へ一層のご協力をお願い申し上げます。

## ◆優秀表彰



金塚 仁司

荒木 憲一

鉢呂 光生

川崎 竜一

石井 征男

高野 祥

(順不同、敬称略)

## ◆優良表彰



上田 裕昭

中谷 勝昭

赤崎 清志

梶本 毅

安孫子順一

傳里 隆男

笠谷 栄司

伊東 久雄

(有)東和農場

松木 一幸

西山 俊秀

加瀬 陽介

川上 和幸

澤田 竹次

廣田 敦彦

野中 剛

高島 賢治

岡田 雅彦

鎌田 修一

武田三代子

伊澤 裕弘

堀田 一也

平川 千春

紙谷 敏彦

(株)アップフィールド

川上 信幸

西中 敏美

松田 直人

谷口 昇

中陳 勇人

酒井 雅憲

田阪 正実

(合)新翔

高田日出男

山内 孝良

央輪生産組合

(順不同、敬称略)

## 4月27日(土) 第48回上川ホルスタインショウ開催 東鷹栖45区加藤智宏さん各部で優秀な成績を収める。

4月27日、ホクレン北海道中央地域家畜市場（旭川市東鷹栖）にて第48回上川ホルスタインショウが開催されました。

昨年末に新築された家畜市場では初めての開催となり、かつ平成最後となる本共進会には上川管内の酪農家から計45頭の乳牛が出品され、日頃の改良の成果を競いました。



当JAからも東鷹栖地区45区加藤智宏さんが6頭の乳牛を出品され、ジュニアショウマンクラス・子牛クラス・育成ジュニアクラス・育成ミドルクラスにおいて、それぞれ1位を獲得されました。

また育成ミドルクラスへ出品されたグリーンハイツ マウイ モーゼが未経産牛全体の最高位であるジュニアチャンピオンを獲得され、更には育成ジュニアクラスへ出品されたグリーンハイツ レジーニア レイジーが準最高位であるリザーブ・ジュニアチャンピオンを獲得されるなど、華々しい結果となりました。



## 5月1日(水) 2019 田んぼアート播種作業実施



東鷹栖17区高見一典さん宅にて「2019 田んぼアート」の播種作業を行いました。

当日は、多少雨が降る中ではございましたが、本年の田んぼアートの実質的な作業の始まりということもあり、青年部員37名参加のもと、機械で播種作業を行う班とハウスにて育苗箱を並べる班に分かれて作業を行いました。また、青年部員の息の合った作業により、育苗箱約750枚を約4時間で並べることができました。

作業終了後には慰労会を開催し、当日の作業の反省と今後の田んぼアートについて、それぞれ話し合い、更に青年部の団結力が高まるものとなりました。

田んぼアート2019

# 「がんばろう北海道」



今年で14年目を迎える田んぼアートですが、昨年は台風の北海道通過や北海道胆振東部地震とそれに伴う全道全域に及ぶ停電（ブラックアウト）が発生する災害が多発した年でありました。そこで今年は北海道応援やラグビーワールドカップの日本での開催や改元の年であることから、昨年までの動物を使用したアートとは違った旭川市と鷹栖町のゆるキャラを使用したアートを描いていきます。皆様、ぜひ楽しみにお待ちください。  
ゆるキャラ名（左から）：「あったかすくん・あさっぴー・ゆっきりん」

## J A 北海道中央会

NHK連続テレビ小説「なつぞら」をご覧になっていますでしょうか？ J A 北海道中央会のフェイスブックページでは、4月23日より「なつぞらに関する投稿」を不定期ながら発信しています。

ドラマでは当時の農業や農村の様子だけではなく、農協（J A）についても、取り上げられていることから、北海道農業をサポートする J A グループ北海道として、ドラマの感想も含め、関連する北海道農業・酪農の歴史や魅力、J Aに関する歴史・話題などをお届けしてゆく予定です。フェイスブックにて検索頂き J A 北海道中央会のページに「いいね！」「ページをフォローする」をタップ頂きますと、記事が表示されるようになりますので、ご覧いただけると幸いです。フェイスブックページで「J A 北海道中央会」で検索するか、または、こちらのアドレスからどうぞ  
⇒ <https://www.facebook.com/jahokkaido>



# J A グループ通信

## J A 北海道信連

J Aバンク北海道では、スポーツ振興や地域振興の観点から、「日刊スポーツ豊平川マラソン」への協賛を行い、今年で4年目となります。ゼッケンに「J Aバンク北海道」ロゴを掲出し、特設ブースには新キャラクター「よりぞう」も駆け付け、一緒に写真撮影をされた方に「よりぞう」シールをプレゼントしました。

「よりぞう」が登場すると、たくさんの子供たちに囲まれ、大会を大いに盛り上げました。



## J A 共済連北海道

J A 共済連では、道内の8校（中・高等学校）にて、スタントマンが危険な自転車走行に伴う交通事故場面を再現し、生徒が事故の危険性を疑似体験する（スケアード・ストレイト教育技法）自転車交通安全教室を開催します。

J A 共済連は、本活動を通じて交通事故の未然防止を図り、次世代を担う子供たちの育成と安全な生活環境づくりに貢献していきたいと考えております。



## ホクレン

ホクレンは創立100周年を迎えた4月18日、札幌パークホテルにて会員 J A・取引先をはじめとする皆様にご臨席いただいて記念式典を開催し、続けて祝賀会も開催しました。祝賀会では100周年の節目にあらためて設定したホクレンの経営理念～わたしたちは生産者のための協同組合として会員 J A と連携した事業を通じ、共生の大地北海道から、「農」と「食」の未来を担います～が内田会長より発表されました。



## J A 北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご覧ください。



J A グループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



開催決定!

# 上川管内農協合同 農機・自動車フェスタ

中古展に替わる新しいイベントとして誕生した「農機・自動車フェスタ」が今年もアルーダ旭川にて開催されます! 年に一度、上川管内の中古農機が大集合するこの機会をお見逃しなく!!

【日時】 6月21日(金)・22日(土)



1日目 10:00~15:00

2日目 10:00~14:00

※2日目の自動車展示会場は16時まで開催しております



【場所】 **アルーダ旭川特設会場**  
ホクレン油機サービス旭川支店  
(旭川市永山2条13丁目1番28号)

中古農機・自動車をお探しの方は要チェック!!

中古農機情報は、開催直前に下記のホームページに掲載されます!

ホームページ右上の「展示品一覧」をクリックして欲しい機械をチェック!

※内容は随時更新しております!

御成約の際、御本人の確認出来るもの(免許証・保険証等)が必要となりますので、ご持参ください。

ホーム  
ページ

<https://www.hokuren.or.jp/aruda/>

アルーダ 中古農機

検索



## 皆様のご来場お待ちしております!

上川地区「JAバンク」



# ゆめゆめ 定期貯金 キャンペーン

**期間** 令和元年6月3日(月)～7月31日(水)

**10万円以上の新規預入または増額書替**

**組合員の方**  
正組合員・准組合員・新規組合員加入の方

1年定期

3年定期

店頭金利 × **3**倍

**組合員以外の方**

1年定期

3年定期

店頭金利 × **2**倍

金利上乘せにかえて、  
農産物をご希望の方は

**お米  
プレゼント**

**3年定期  
組合員を対象**  
(正組合員・准組合員・新規組合員加入の方)

200万円毎

**5kg  
(ゆめぴりか)**

※お米の引き渡し前に中途解約されますとお米プレゼントは適用されません。  
※金利は店頭金利となります。

**対象商品**  
スーパー定期貯金及び大口定期貯金

●預入期間は1年・3年とさせていただきます。●ご契約いただいた定期貯金は「自動継続扱い」とさせていただきます。満期日以降は上乗せ金利が適用されませんのでご注意ください。●期日前に中途解約されますと、お預入日から中途解約日まで所定の中途解約利率が適用となりますのでご注意ください。●お利息に20.315%(国税15.315%・地方税5%)の分離課税となります。●個人の方に限らせていただきます。●本定期貯金は貯金保険制度の対象となり、同制度の範囲内で保護されます。●商品の説明書は、店頭にお申し出下さい。

## JAたいせつ

■ 本所 ☎57-2345

■ 鷹栖支所 ☎87-2121

組合員へは出資と一定の条件によりご加入いただけます。詳細につきましては窓口までお問い合わせください。

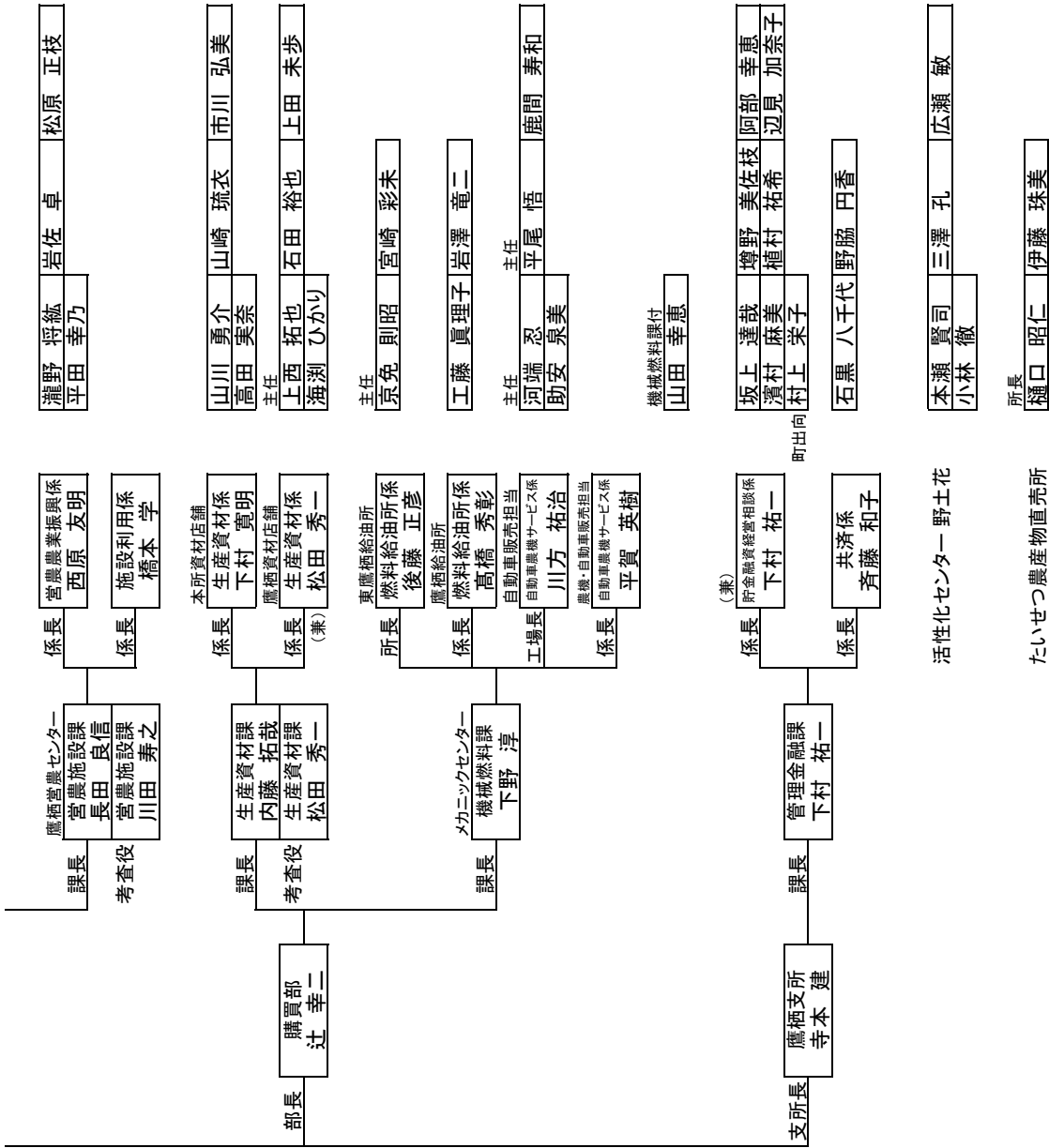




## 5月1日付人事異動

氏名	異動前	異動後
利根川一朗(異動)	鷹栖支所長	内部監査室長 兼 内部監査課長 兼 内部監査係長
伊藤 彰則(昇格)	総務部総務課長 兼 融資審査課長 兼 内部監査室内部監査課長	総務部長 兼 総務課長
辻 幸二(昇格)	購買部機械燃料課長	購買部長
寺本 建(昇格)	鷹栖支所管理金融課長 兼 貯金共済係長	鷹栖支所長
西村 剛志(昇格)	総務部融資審査課融資審査係長	総務部融資審査課長 兼 融資審査係長
吉田 直樹(昇格)	営農部農産販売課米穀販売係長	営農部農産販売課考査役 兼 米穀販売係長
下野 淳(昇格)	購買部機械燃料課自動車農機サービス係長	購買部機械燃料課長
下村 祐一(昇格)	鷹栖支所管理金融課考査役 兼 管理融資経営相談係長	鷹栖支所管理金融課長 兼 貯金融資経営相談係長
小林 賢二(異動)	総務部総務課総務係長 兼 内部監査室内部監査課内部監査係長	総務部総務課総務係長
谷口 尚宏(異動)	営農部営農施設課営農農業振興係長	営農部農産販売課青果畜産係長 (旭川青果連担当)
西原 友明(異動)	購買部生産資材課生産資材係長 (本所資材店舗)	営農部営農施設課営農農業振興係長
下村 寛明(昇格)	購買部生産資材課生産資材係 (本所資材店舗)	購買部生産資材課生産資材係長 (本所資材店舗)
平賀 英樹(異動)	営農部農産販売課青果畜産係長 (旭川青果連担当)	購買部機械燃料課自動車農機サービス係長 (農機・自動車販売担当)
斉藤 和子(昇格)	鷹栖支所管理金融課貯金共済係主任	鷹栖支所管理金融課共済係長
西川 博敏(昇格)	内部監査室内部監査課内部監査係	総務部総務課総務係主任 兼 内部監査室内部監査課内部監査係主任
佐藤 雄亮(昇格)	金融部共済課共済係	金融部共済課共済係主任
遠藤 大介(昇格)	営農部農業振興課農業振興係	営農部農業振興課農業振興係主任
晴披のり子(異動)	総務部総務課総務係	内部監査室内部監査課内部監査係 兼 総務部融資審査課融資審査係
谷口 奈美(異動)	金融部金融課貯金融資係(融資・経営相談係)	金融部金融課貯金融資係
岩館 雅敏(異動)	営農部営農支援課営農支援係	営農部農産販売課青果畜産係
坂上 達哉(異動)	金融部金融課貯金融資係(貯金担当)	鷹栖支所管理金融課貯金融資係

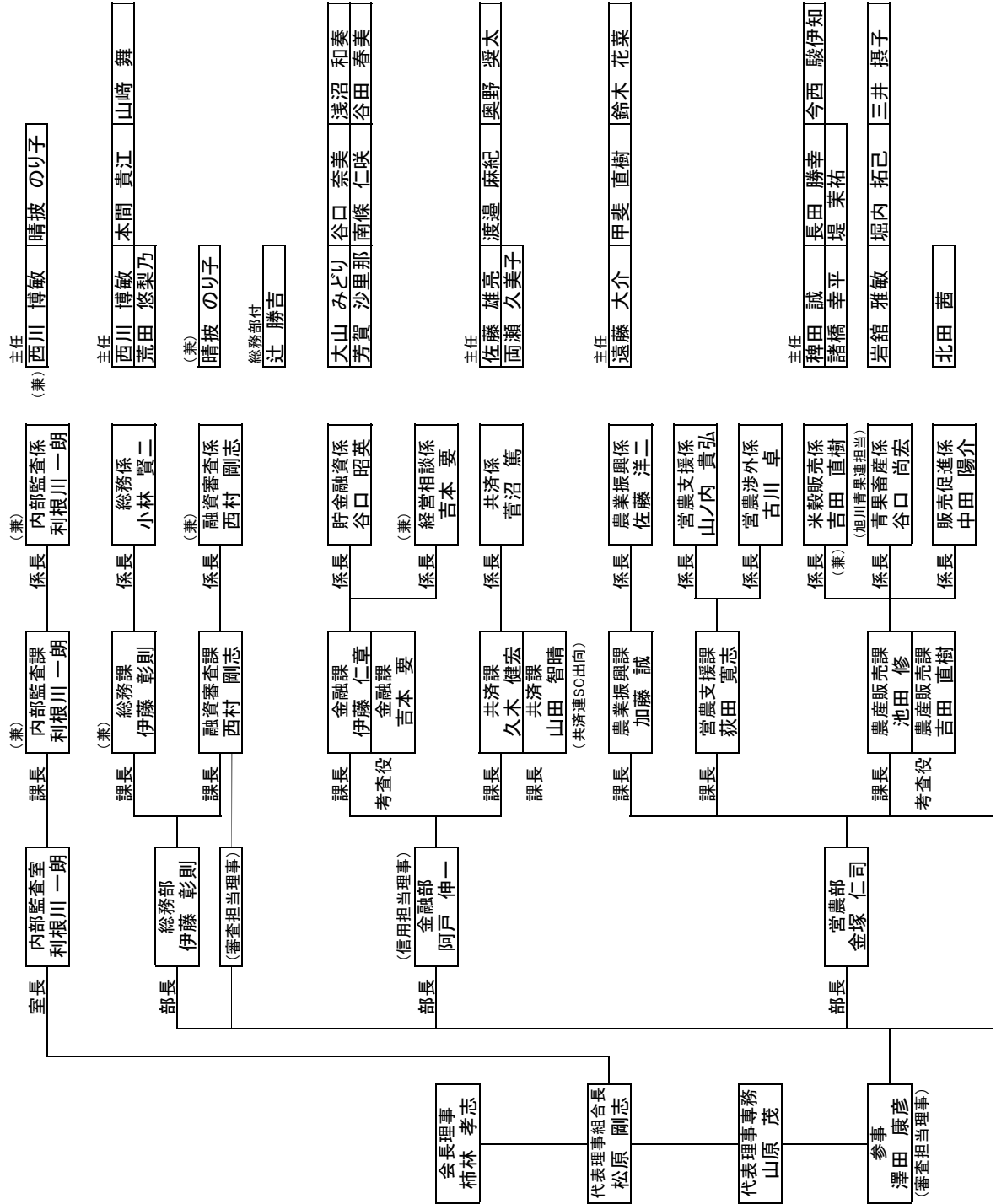
常勤監事  
高橋 和久



活性化センター 野土花

たいせつ農産物直売所





## 理事会からのご報告

平成三十一年四月五日第十七回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

一、農協事業懇談会意見集約について

平成三十一年三月二十六日から四月一日まで実施致しました農協事業懇談会のご意見を集約し、その対応策について協議し今後の事業運営に反映する事と致しました。

二、任期満了に伴う業務引継ぎについて

任期満了に伴う次期役員への業務引継ぎについて三月末貸借対照表明細及び損益計算書明細により引き継ぐことで承認されました。

三、組合員持分譲渡承認について

二件の相続による持分譲渡承認について決定致しました。

平成三十一年四月十日第一回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

一、代表理事組合長、代表理事専務の互選について

代表理事組合長に松原剛志理事、代表理事専務に山原茂理理事が選任決定されました。

二、会長理事及び筆頭理事の選任と理事の順位について

会長理事に柿林孝志理事、筆頭理事に相澤峰基理事を選任し、以下理事の順位を酒井理事、高橋理事（新任）、外川理事、高野理事（新任）、布施理事、佐竹理事の順で決定されました。

三、農協法第三十条第三項による信用担当理事の選任について

信用担当理事に阿戸伸一（学経理事）を選任致しました。

四、平成三十一年度理事報酬額について

総代会で承認戴いた平成三十一年度理事報酬額について、組合長・専務・筆頭理事・理事の報酬について協議し承認決定されました。

五、役員退職慰労金の支給について

総代会で承認戴いた役員退職慰労金の支給時期と方法について協議し承認決定されました。

六、定款第三十八条による参事の選任について

三浦参事が四月末で退職することに伴い、澤田購買部長を参事役兼務とし、五月一日より参事（学経理事）として選任決定致しました。

七、審査担当理事の選任について

農協法改正に伴い融資審査役員配置が必要となり、澤田参

事を審査担当理事として選任決定致しました。

八、前任役員からの業務継承について

前任役員から三月末貸借対照表明細及び損益計算書明細で業務継承することで承認されました。

九、新旧常勤理事事務引継ぎに伴う立会人の選任について

三浦参事（学経理事）の引継ぎ立会人について山原専務を選任決定致しました。

十、定款第五十七条第三項による組合と理事の契約承認について

新任理事二名のクミカン貸越限度額設定について協議決定されました。

十一、平成三十年度行政業務報告書について

平成三十年度行政業務報告書について承認決定されました。

## 監事会からのご報告

平成三十一年四月十日第一回監事会で次の案件について協議し承認決定されました。

一、監事監査規程第三条による代表監事の互選について

代表監事に吉本憲監事を選任決定致しました。

二、監事監査規程第三条による監

事の常勤互選について

常勤監事に高橋和久員外監事（新任）を選任決定致しました。

三、平成三十一年度監事報酬額の配分について

総代会で承認戴いた平成三十一年度監事報酬額について、代表監事・監事・常勤監事の報酬額について協議し承認決定されました。

四、監事会規則の改定について

原案通り承認決定致しました。

五、みのり監査法人との監査契約について

総代会で承認戴いたみのり監査法人との監査契約書等の内容を検討し、定款第三十六条の七により監査報酬額等を決定し、監事会として監査契約書に同意することについて承認決定致しました。

## 「たいせつ」のあゆみ

5月

5月10日 労働安全衛生委員会・企画会議

5月28日 財務諸表等監査（みのり監査法人…計画監査）

5月29日 第2回理事会

5月31日 農事組合長・町内会長会議